

子どもの「もしも」のときに備えよう!!

— 乳児の心肺蘇生と窒息解除法講習会 —

看護学科 田中 栄利子

未来を担う子どもの命を守ることは、私たち大人の務めです。しかし、わが国の子どもの死亡原因の上位は、交通事故や溺水、窒息などの不慮の事故で尊い命が失われています。事故が起きてしまった際、救急車が到着するまでの心肺蘇生が重要となるが、パニックで慌てふためき、救急要請ができていない、心肺蘇生がなされていない現状があります。そこで、ココネットあおもり主催の「ココこれっじ」を利用する保護者（初めて子育てをする保護者）と、子育て支援活動に従事するボランティアスタッフを対象に、「子どもの命を守る」ための心肺蘇生法と窒息解除法を身につけることを目的に講習会を開催しました。

開催日時、場所

初めて子育てをする保護者

- ◆ 2019年2月27日（水）13:00～15:00
- ◆ 青森県立保健大学 A棟3階 地域・老年看護実習室
- ◆ 参加人数: 8名

子育て支援活動に従事するスタッフ

- ◆ 2019年3月6日（水）10:30～12:00
- ◆ 青森県立保健大学 C棟2階 研修室2
- ◆ 参加人数: 11名

プログラム内容

- ◆ 一次救命処置とは
- ◆ 乳児に対する心肺蘇生法、窒息解除方法を知る（講義）
- ◆ 乳児に対する心肺蘇生や窒息解除の方法を体験する（実技）

心肺蘇生や人工呼吸、窒息解除の方法について、人形を使いながら行いました。

講習会当日は、看護学部の学生がボランティアの立場として運営に携わるだけでなく、事前に質の高い心肺蘇生技術を提供するために十分に準備し、教員により万全の指導を受け、参加者の指導に携わりました。

講習会終了後に参加者の皆さんにアンケートを実施しました。参加者の皆さんによる講習会の評価は、10段階評価で9点台と高く、「とても勉強になった」「具体的な内容で分かりやすかった」という感想を多く頂き、満足度の高い企画であったと言える。

また、「1歳以上の講習会があれば是非参加したい」「繰り返し講習を受けることが大切なため、機会があれば参加したい」等の要望も寄せられ、今後もプログラム内容を検討しながら継続していく。

講習会の様子



心肺蘇生を指導する学生サポーター



人工呼吸を体験する参加者



人形を使って窒息解除法を体験

